福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	社会教育委員会議運営事業					事業コード	100501630232			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり				
	施 策 名	1 生涯にわたり学び続けられる機会の充実				施策コード	421			
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	206・207 頁
計画期間	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法、福知山市社会教育委員の定数等に関する条例、福知山市社会教育委員の会議運営規則									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 社会教育法に基づく設置であり、市民の声を社会教育行政に反映するという役割を担っており、教育委員会に答申や提言をする機関として会議開催を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 社会教育・生涯学習に対する市民の意識の深化、学校・地域との連携、協働等について、公募により広い知見を持ち、社会教育に関心と熱意のある委員の確保を進める必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 住民が生涯にわたり学び続けられる機会や学習等の教育ニーズを行政施策に反映すること、また、社会教育事業の調査・研究、社会教育のあり方について積極的に議論をし、様々な取組の提案や答申、提言を教育委員会に対して行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 社会教育に関する現代的課題等の研究調査を踏まえ、教育委員会に提言書等の提出を行う。（提言書等の提出は2年に1回で、第21期は令和7年度に行った） 委員定数は、条例に基づき10人以内（第21期は9人に委嘱）で運営を行い、令和7年度は13回の会議を実施した。 〇社会教育委会議の開催（6回/年程度　※提言書等提出年度は12回/年程度） 〇中丹・京都府・近畿地区の研修会等に参加

対象者	福知山市社会教育委員	対象者数	9	単位あたりコスト	371.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 分担金支出 ）					
委託先・実施主体等	京都府社会教育委員連絡協議会、中丹社会教育委員連絡協議会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	808	委員報酬	負担金補助及び交付金	25	中丹・府社会教育委員連絡協議会分担金
報償費	4	委員活動報告書作成謝礼			
旅費	33	中丹・府社会教育委員連絡協議会総会・府社会教育研究大会			
需用費	42	社会教育委員イベントチラシ・消耗品、冊子(社教情報)、活動報告書用消耗品			
役務費	5	郵送料			
使用料及び賃借料	20	デジタル複合機賃貸借料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	553	994	526	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		553	994	526	
予算財源内訳	① 一般財源	553	994	526	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 53	0		
	② 配当予算	500	994		
	③ 執行額	476	938		
	④ 執行率	95.2%	94.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.33 / 0.06	0.28 / 0.06	/	/
	② 概算人件費	2,808	2,408		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		3,284	3,346		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	0	1	0	1		
	提言実施数（隔年ごとに1回）	目標値		0	1	0	1	0	
		達成度	%	－	100%	－	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	5	7	6	13		
	会議開催回数（隔年ごとに異なる）	当初見込		6	12	6	12	6	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	社会教育事業の調査・研究、社会教育のあり方について積極的な議論の場や視察・研修の機会を設ける。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○子育て・民生児童委員・学校教育・福祉関係者や福知山公立大生など多様な分野でご活躍の方々に第21期社会教育委員を令和6年6月から委嘱させていただいた。 ○令和7年度（第21期）は、計13回の会議を開催した。うち令和7年11月には、桃映地域公民館（令和6年9月に公民館棟新築）で、社会教育委員会主催のイベント「集まって、つながって、楽しもう　KOUMINKAN　in　桃映地域公民館」と題し取り組んだ。令和8年2月16日には、教育長に【活動報告書】「地域資源と人を巻き込み社会教育を考える～公民館を活用した防災イベントを通じて～」を提出した。
現状の課題に対する改善策	○提言書等以外にも随時、福知山市の社会教育についてなど、今後の社会状況に応じた社会教育の在り方や現代的課題の解決に向けた具体例の提案についても協議検討を行う場とし、市民が心豊かで充実した生活を送り、「共に幸せを生きる」社会の実現を目指す。 ○中丹、府、近畿地区社会教育委員連絡協議会総会等に積極的な参加を促し、他市町村の先進事例や活動についても学ぶ機会とし、その見識を高め本市社会教育委員の活動に活かしていただく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	生涯学習一般管理事業					事業コード	100501630240		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり			
	施 策 名	1 生涯にわたり学び続けられる機会の充実				施策コード	421		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料 207 頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 生涯学習課の事務を円滑に行い、生涯にわたり学び続けられる機会を充実させる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 課の事務が円滑に行えるように工夫をし、経費削減に努める。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 生涯学習課の事務を円滑に行い、生涯にわたり学び続けられる機会を充実させる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇市民対応、議会対応、課内調整など課の庶務、予算にかかる事務 〇社会教育・生涯学習に関する社会教育事業の後援、福知山市生涯学習まちづくり出前講座の実施に係る計画等 〇生涯学習情報誌等による生涯学習の推進 〇事務用品の購入や維持管理

対象者	市民	対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	三岳地区自治会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	2,481	旧勤労青少年ホーム光熱水費、社会教育事業のまとめ冊子作成、事務用品等購入			
役務費	361	建物共済基金分担金、電話代、郵送料、切手代			
委託料	150	旧三岳青少年山の家周辺除草業務			
使用料及び賃借料	286	複写機使用料			
備品購入費	23	NAS			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,788	3,640	3,609	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,788	3,640	3,609	
予算財源内訳	① 一般財源		1,773	3,625	3,394	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		15	15	215	
決算情報	① 流充用額		△ 50	△ 104		
	② 配当予算		1,738	3,536		
	③ 執行額		1,681	3,301		
	④ 執行率		96.7%	93.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.66 / 0.01	0.73 / 0.01	/	/
	② 概算人件費		5,308	5,868		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			6,989	9,169		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
土地建物貸付収入（旧三岳青少年山の家）	財産貸付収入	200	30	
電柱類設置貸付収入（生涯学習課）	財産貸付収入	15	31	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	96	97	100	95		
	参加者のうち、学習の成果を生かす場をイメージできた人の割合	目標値		60	65	70	75	80	
		達成度	%	160%	149%	143%	127%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	事業数	62	65	67	72		
	まちづくり出前講座メニュー数	当初見込		60	60	60	60	60	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民を対象にHPで公開し、啓発した。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○生涯学習課事業の事務的経費として適切な執行を行っている。事務に係わる用品等は、計画的な調達と在庫管理で、無駄な購入のないように実施している。 ○遅滞ない事務執行により、適切な市民サービスを提供できた(定性的評価)ことにより、社会教育の重点に基づき、福知山市民の生涯学習を豊かにするための事業を進めることができ、共に幸せを生きる地域社会を支える一役を担うことができたと考える。 ○R7年度は出前講座の内容を広報ふくちやまにも掲載し、広報誌を見て申請されるなど一定の周知を得た。 ○中学校、高校での申請率が増加し、参加率も増え学校側からまた利用したいとの回答も得た。
現状の課題に対する改善策	○スクラップ＆ビルドを心がけ、事業統合等を検討しながら市民サービスの向上に努める。また、生涯学習社会の実現に向け、学校教育と社会教育の連携・融合の視点を大切にしながら人がつながる地域づくりを進める事業を展開する。